

大分市立判田小学校学力向上プラン

(1) 子どもたちと取り巻く環境

- 新旧住宅地の混在校区。高江ニュータウン、判田台の2大住宅地からは総児童数の8割近くが通ってくる。
- 地域の方々の「判田の子どもは判田で育てる」という意気込みが強く、学校行事や地域見守りパトロールなどにも非常に協力的である。
- 保護者も教育に対する関心が強く学校に理解を示し協力的である。
- 児童は素直で明るくとても人懐っこい面を持っており、学校生活でも一生懸命に取り組む姿を多く見ることができる。学習にもまじめに取り組むが、積極的に課題解決に臨むというところまではいかない。また、じっくり考えることを苦手としている子どももいる。

(2) 学校経営の概要

【学校教育目標】

自ら学び、自ら考える力と豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成

【めざす学校像】

- ◇落ち着いた中にも活気のある学校
- ◇互いにあいさつを交わす活気あふれる学校
- ◇どの子も居場所があり、互いに支え合い励まし合う学校
- ◇地域の人々との交流に努め、地域に開かれ愛される学校

【めざす子ども像】

☆考える子ども
〈確かな学力〉

自分の考えを持ち、
学び合う子

☆やさしい子ども
〈豊かな心〉

相手の気持ちを理解し、
励まし合う子

☆がんばる子ども
〈健やかな体〉

心身をきたえ、
ねばり強くやりぬく子

【子どもを育てる教師の構え】

- ・ 居心地のよい学級
- ・ 自尊感情の育成
- ・ 実態に即した道徳授業
- ・ 体験活動
- ・ 危機管理
- ・ 情報セキュリティ
- ・ 安全指導
- ・ 地域・保護者との連携
- ・ 組織作り

命を守る

心を守る

学力の保障

子どもを守る

人権を守る

生活を守る

- ・ 差別を見抜く目を養う
- ・ 「立場をもつ子」を核とした学級経営
- ・ 特別支援教育の充実

- ・ 気持ちのよい挨拶励行
- ・ 基本的な生活習慣の確立
(早寝・早起き・朝ご飯)

子どもの真の学力の向上につながる

【本年度学校経営の3つの重点課題】

- 1 学力の底上げ（授業力の向上を図り、「学力の底上げ」に努める）
- 2 体力の向上（運動や外遊びを奨励し、体育の授業の充実を図ることで、「体力の向上」に努める）
- 3 心の教育の充実（ルールやマナーを大切にすることの育成に努めるとともに、自他のよさに気づきお互いに高めあう「心の教育の充実」に努める）

（3）学力調査の分析 ～5年生の調査結果より～

〈学習面〉

- 国語は、知識・活用とも県平均・目標値を上回った。領域や観点も県平均・目標値を上回った。
- 算数の知識は県平均・目標値を上回った。活用は、目標値には達したが県平均よりわずかに低かった。領域・観点別にみると、量と測定、数量や図形についての技能が県平均や目標値を下回った。
- 理科は、知識・活用とも県平均・目標値を上回り、領域・観点でも県平均・目標値を上回った。
 - ※国語では、文の構成（連体修飾語・連用修飾語）を理解させる必要がある。授業の中で文法事項の復習や練習を行う。
 - ※算数では、具体物の操作などで実際の量を実感させながら、指導していく。
 - ※理科では、実験の技能が定着していないところがある。身近な自然や季節の移り変わりなどにも目を向けさせ変化を捉えさせる必要がある。

（4）学力向上の取組

①学習規律の徹底

- 判田「学習規律」の徹底
 - ・発表の声の大きさを意識してみんなに聞こえる声にする。
 - ・発表する時には根拠を言わせる。
- 「判田っ子家庭学習の手引き」の活用 ※家庭と連携し、活用の徹底と見直し・指導
- 小中の系統性を図る（9年間を見通した継続的な取組）
 - ・教科の課程案や教科書を見合い、課題を明確にして資料を作成
 - ・授業規律を視点に互見授業の実施

②継続学習の工夫

- 朝の学習タイム（チャレンジタイム）、読書タイムの充実
 - ・基礎・基本の力を育てるための学習タイム年間プランの活用。年間を通じて全校で系統的・計画的に取り組む。
 - ・読書に進んで取り組む子どもの育成（ボランティアによる読み聞かせの位置づけ）
- 図書館の活用
 - ・読む本の種類を広げる取組の継続

③授業改善と評価

- 校内研修（外国語活動）により、子どもの表現力を高める。
- “めあて”“課題”“まとめ”“振り返り”を明確にした1時間完結型授業
 - ・課題の質を高め、まとめを位置づける。
- ICT機器の積極的な活用
 - ・電子黒板、iPad等の積極的な活用
- 互見授業の推進（校内及び小中間）
 - ・今年度も若手教員を育てること等をねらいに主体的に実施
- 指導教諭を中心とした外国語活動の推進
- 算数・理科好きな児童の育成
 - ・指導方法を工夫しながら分かる授業の実施
 - ・観察や実験の技能を高める授業の工夫
 - ・ノート指導の充実

④地域や保護者との連携～自力登校、生活習慣、家庭学習など

- 年2回の判田地区教育懇談会の実施（幼・小・中・高・地域・PTA）
- 「判田っ子を育てる会」として学校・保護者・地域が一緒に育てていく。
 - ・小中合同の課題について、共に取り組み、学力向上会議を実施（年2回）。